

総務産業建設常任委員会 会議録（要旨）

開催日時	令和6年7月18日（木） 13時21分～14時08分
開催場所	全員協議会室
出席委員	恩道正博 委員長、西尾雄次 副委員長 中村 聡、磯貝幸博、中川 達、南 守雄
欠席委員	（なし）
オブザーバー	七田満男 議長
傍聴者	（なし）
説明員	松井 総務部長、北野 総務部担当部長、上前 都市整備部長、宮本 都市整備部 担当部長、重島 消防長、山田 総務課長、安下 総務課担当課長、北 財政課 長、奥田 企画課長、法利 企画課担当課長、宮崎 地域産業振興課長、渡辺 都 市建設課長（欠席）、四月朔日 上下水道課長、舟野 上下す同課担当課長、中 本 消防次長、長谷川 会計課長
事務局・書記	堀川 議会事務局長、川端 事務局次長兼参事

議 件

（1）町長提出議案の審査

◎ 委員会付託された議案はすべて原案可決とする。

○ 主な質疑等

【委員】

賃貸型応急仮設住宅の施設借上料に関して、入居者の立替払いの期間を短くできないか。

【説明員】

現在は、契約手続きが進み、立替払いの期間は短縮されている。

（2）執行部からの報告事項

・令和5年度 決算収支状況について

決算剰余金については、一般会計が1億2809万5335円、国民健康保険特別会計が1629万3263円で、それぞれの実質収支額の2分の1相当を基金へ積立て、残額を翌年度へ繰り越す。

・地震被害を受けた住宅・宅地の復旧等に対する県・町の支援について

6月補正予算に計上した住宅耐震化促進事業と、今7月会議で4億円を計上した被災宅地等復旧支援事業により支援を実施する。

- ・令和6年能登半島地震で被害のあった、南部揚水機場 水管橋の復旧について
北陸農政局より、河北潟干拓地内の南部揚水機場の水管橋の復旧計画について連絡があった。今年の冬までに仮設管を設置後、令和7年度までに新たな管を設置し、既設配管を撤去する予定とのこと。工事の支障となるため伐採する桜の木については、工事完了後に捕植をするとのこと。

【委員】

干拓地内の道路は内灘町と津幡町を結ぶ大変重要な路線であることから、仮設道路の設置も含め、通行止めの解除に向けて対応すべき

【説明員】

隣接する自治体や県・国と協議したい。

(2) その他

【委員】

能登半島地震災害復興基金を活用した支援の中で、仮設住宅に入居されている方向けに、荷物等を一時保管するための支援ができないか。

【説明員】

基金が活用できるか、今後確認したい。

【委員】

町の義援金の給付状況について

【説明員】

義援金総額は約1億8千万円となり、給付対象金額の約8割の給付が完了しているとの回答がありました。残りの義援金の配分については、今後、配分委員会で検討したい。

(以上)